

Tyfo® S Saturant Epoxy

説明

Tyfo® S Epoxy は、複合繊維シート（アプリケーション）に浸透し、繊維間を接着させるための 2（液型）-コンポーネントエポキシシート樹脂（複合材として強度を発現させるための樹脂）マトリックス材です。それは、基材としての最高の性能を Tyfo® システム に与える高い含浸率を有する材料です。不愉快な匂いが無いので長時間作業可能です。Tyfo® S Epoxy は、厚膜仕様で、プロジェクト要求に応じた下塗りまたは、上塗りとして使われます。

使用目的

Tyfo® S Epoxy マトリックス材は Tyfo® 繊維と結合され、構造部材を強化するための湿式層複合材を提供します。

長所

- ・高温でも高性能
- ・低温でも高性能
- ・長い作業時間可能
- ・高い伸長率
- ・自然硬化
- ・100%無溶剤

使用面積

1.0ポンドの繊維当たり約 0.8 ポンドエポキシ樹脂。第一層として使われるときは、使用面積は、現存する表面に依ります。

包装

注文は2080ドラム缶か既190容器でお渡します。

混合比

容量ではコンポーネント A 100.0 に対しコンポーネント B を 42.0 の割合でご利用ください。（重量ではコンポーネント A の 100に対しコンポーネント B の 34.5 の割合になります。）

保存期間

開封されていない容器で、適切に格納された場合 保存期間は2年です。

貯蔵条件

(4~32° C) で貯蔵してください。凍結禁止。

適法証明

- ・要求があれば、使われるラベルのコピーによる州、連邦梱包法に準じた配達をいたします
- ・科学物質等安全データシート (MSDS) は、要求に応じて提出いたします。
- ・ASTM D-2369 で 0 % V.O.C. レベル

TYFO S EPOXYの使用法

施工

Fyfe 社 LLC によって施工される Tyfo® System は、研修を受けた者に資格を与えています。施工は、Fyfe 社 LLC 品質管理に厳密に準拠しております。

表面処理

必要とされる表面処理は、強化すべき設計目的に大きく依存しています。概して、その表面は、清浄で、乾燥状態で、そして、突起・段差または、空洞（Tyfo® 複合材が剥がれる恐れがある）を除去して平坦にしなければなりません。連続的にカバーされる柱表面は、箒で掃除するだけで十分です。連続的にカバーされない表面（壁、梁、床スラブ等）は、サンドブラスト、グラインダーがけ、もしくは承認された方法で下地処理をしなければなりません。機械的アンカーが、設計そのものに組み込まれることもあります。Fyfe 社 LLC エンジニアリングスタッフは、プロジェクトの要求に基づく適切な仕様、及び、詳細を提供します。

す。

混合

既に計量された190容器では、「B剤」の溶液を「A剤」の容器に注入してください。208リットル入りドラムでは各溶液を使用前に混合してください。体積比では A剤 100.0に対し B剤 42.0 の割合です。重量比では、A剤 100 に対しB剤 34.5 の割合です。混合液の粘性が高すぎるならば、所望の粘性が達成されるまで、ヒータで容器を温めるか、混ぜていない容器を 54° Cの温水で加温させてご利用ください。希釈しないでください。溶媒は、適切な養生を防止する可能性があります。均一に混合させるには、400-600 RPM の低速攪拌機で 5 分間練り混ぜしてください。最初のプライマー、または、仕上げ塗りとして使用するとき、Tyfo® S Epoxy は、必要な濃度にしてください。

適用方法

Tyfo® S Epoxy は、Tyfo® 、研修を受けた者か承認されたマニュアル書どおりの方法により、様々な Tyfo® 繊維シートに適用されます。この使用法はデータシートをご覧ください。エポキシ樹脂が一様で、作業が仕様に準拠している場合はマニュアル湿潤も可能です。Tyfo® S Epoxy は、ブラシまたは、ローラの道具で塗布します。

制限

エポキシ樹脂塗布の使用最低温度は、(4° C)です。

エポキシコンポーネント仕様	
色	溶剤「A」は、うすい黄色で透明です。溶剤「B」は透明です。
粘性	77° F (25°C) の溶剤「A」はASTM D-2392-80で、11,000-13,000 cps です。 77° F (25°C) の溶剤「B」はASTM D-2392-80で、11 cps です。
ポットライフ	20° Cで3~6時間
混合物の粘性	600-700 cps.
20° Cでの密度 (ガロン当りのポンド)	溶剤「A」は9.7 (4.4 kg/3.79L) 溶剤「B」は7.9 (3.6 kg/3.79L) 混合液は9.17 (4.2 kg/3.79L)

エポキシ材料性質		
養生時間は140° F (60° C)で72時間		
性質	ASTM 試験要領	典型的 試験結果*
Tg 140° F(60° C) 後養生 (24 時間)		180° F(82° C)
引張強度 psi *1	ASTM D-638 Type 1	10,500 (72.4 MPa)
引張弾性係数, psi		461,000 (3.18 GPa)
伸び率	ASTM D-638 Type 1	5.00%
弾性強度, psi	ASTM D-790	17,900 (123.4 MPa)
弾性係数, psi	ASTM D-790	452,000 (3.12 GPa)

*1 試験温度: 70° F(21° C) クロスヘッド速度: 0.5 in. (13mm)/min.

*検査結果はご要望しだいで提供します。

注意!

溶剤「A」-刺激物:

皮膚に長時間付着するとかぶれる恐れがあります。目に入れないで下さい。

溶剤「B」-刺激物:

皮膚に付着するとひどい火傷を引き起こす恐れがあります。眼には入れないでください。製品は強い刺激物なので、推薦されたマスク、保護めがね、ゴム手袋、長袖の作業着を使用してください。汚染された衣類は避けてください。蒸気を吸うことも避けてください。十分な換気をしてください。

ファーストエイド(応急手当等)

皮膚に付着した場合は石鹸を使い完全に洗浄してください。眼に入った場合は直ちに大量の水で洗浄等の応急手当で後医師の診断を受けてください。吸入して呼吸困難になった場合は、直ちに新鮮な空気に入れ替えてください。作業服は十分に洗濯して再使用してください。

クリーンアップ(除去等)

用具は通常の溶剤で洗浄してください。廃棄する時はその地域の処理規則に従ってください(産業廃棄物扱い)。固まらない材料は、認められた溶剤で溶解・除去してください。固まった材料は機械的ではか除去できません。

シッピングラベルに表示される事項

- ・適用仕様、番号等を明記します。
- ・溶剤の構成(コンポーネント)を明示します。
- ・製品型式を明示します。
- ・製造業者名
- ・製造年月日
- ・バッチ名
- ・ロットの番号
- ・用法
- ・法によって義務づけられている警告、または、事前対策を明示します

- ・容器蓋はきつく閉じておいてください。
- ・専門的作業に使用してください。
- ・更に多くの情報のためには科学物質等安全データシート(MSDS)を参照してください。
- ・子供の手が届かない場所においてください。
- ・工業的用途のみに使用してください。



ダイナテック株式会社

〒738-0204 広島県廿日市市河津原65-13

Tel:082-920-4038 Fax:082-920-4039

www.dynatechno.com